

～さきたま古墳公園を核とした行田地域の魅力アップ～

【予算額 12,700千円】

新規

今が絶好のチャンス

H22 夏 映画「のぼうの城」の撮影開始

H23 夏 映画「のぼうの城」の完成、上映開始
(予定)



地域の盛り上がり

【行田市、行田商工会議所、NPOぎょうだ足袋蔵ネットワーク等】

- 映画「のぼうの城」の官民協働支援組織の立ち上げ
- 足袋蔵を活用した中心市街地活性化への取組(NPO等)
 - ・足袋蔵の有効な活用
(料理店、カフェ、ギャラリー等)
 - ・スタンプラリーの実施等
- JR北鴻巣駅からさきたま古墳公園・古代蓮の里までのシャトルバスの試験運行



蔵めぐりスタンプラリー



忠次郎蔵(蕎麦屋として活用)

県の取組

- さきたま古墳公園の魅力アップ
園内順路誘導標識の設置、イベント広場の活用方策の検討等
- 行田地域の観光資源のネットワーク化
道路案内標識の設置、観光デザインの統一等



観光客数の増加を図り、地域の活性化につなげる



着ぐるみマスコットの活用

〔イベント広場活用事例〕



古代生活体験(土器を使った炊飯)

～「川幅日本一」を活かした地域おこしの推進～

新規

鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅が日本一(2,537m:H20.2国土交通省調査)という新たな地域の資源を地域おこしに積極的に活かし、「花」などを活用しながら地域の各主体が様々な事業に取り組む

県の取組 【予算額 6,600千円】

- 「川幅日本一」を県道東松山鴻巣線を活用してPR



PRパネル(イメージ)

イメージパネルを歩道橋及び転落防止柵等に設置

地域の取組

【鴻巣市、吉見町、鴻巣市商工会、吉見町商工会、鴻巣市観光協会、吉見町観光協会 等】

- 川幅日本一散策マップ(フットパスマップ)の作成
- 既存イベントを活用したPR、広報紙を活用した周知
- 関連新商品の開発・販売



栽培面積日本一のホビー畑



道の駅いちごの里よしみ



「川幅うどん」



よしみグッズ

～環境にやさしいまちづくり～

継続

北部地域の課題を元気アップ会議で話し合い、「経済・生活・環境」が高い水準で調和した地域づくりを目指す目標を定め、地域の各主体が様々な事業に取り組む

県の取組 【予算額 25,000千円】

- 「地域の顔」である熊谷駅周辺(熊谷停車場線)のまちの構造の見直し

車道部分の排水性舗装及び自転車道の整備



県道熊谷停車場

～西川口・B級グルメタウンのまちづくり～

継続

違法風俗店を摘発し一掃した後の160の空き店舗を、「B級グルメタウン」として健全な街に再生して、違法性風俗の復活を阻止するとともに、周辺地域の安心・安全を確保する

県の取組 【予算額 5,760千円】

- 西川口チャレンジショップ運営事業

B級グルメタウンにふさわしいチャレンジショップ(7店舗)への家賃補助

